

## 特別会計

### 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計は、富根、仁鮎地区を対象に給水事業を行うための特別会計である。

#### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	146,647,950	140,530,149	122,553,249	17,976,900	95.8	83.6
17年度	249,683,583	244,800,964	233,952,195	10,848,769	98.0	93.7
比較増減	-103,035,633	-104,270,815	-111,398,946	7,128,131	-2.2	-10.1
増減率	-41.3	-42.6	-47.6	65.7	—	—

当年度の決算額は、歳入140,530,149円、歳出122,553,249円、歳入歳出差引額は17,976,900円となっている。前年度と比較して歳入104,270,815円(42.6%)、歳出111,398,946円(47.6%)それぞれ減となっている。これは、配水管布設工事費が大幅な減となったことによるものである。

#### 2 予算の執行状況

##### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	23,390,000	22,809,698	22,809,698	0	0	100.0
国庫支出金	33,901,000	33,901,000	29,598,000	0	4,303,000	87.3
財産収入	2,000	83	83	0	0	100.0
繰入金	4,070,000	2,837,790	2,837,790	0	0	100.0
繰越金	10,847,950	10,848,769	10,848,769	0	0	100.0
諸収入	6,337,000	6,335,809	6,335,809	0	0	100.0
市債	68,100,000	68,100,000	68,100,000	0	0	100.0
歳入合計	146,647,950	144,833,149	140,530,149	0	4,303,000	97.0

使用料及び手数料の収入済額は22,809,698円で、前年度と比較して2,113,312円(8.5%)の減である。

国庫支出金の収入済額は29,598,000円で、前年度と比較して33,971,000円(53.4%)の減で簡易水道事業建設工事費の減に伴い国庫補助金も減になったものである。なお、この国庫補助金は、事業費を一部翌年度へ繰り越したため、収入未済額となっている。

繰入金の収入済額は2,837,790円で、前年度と比較して6,170,210円(68.5%)の減となっている。これは、一般会計からの繰入金である。前年度は一般会計で歳入した消費税還付金を含めて繰入している。諸収入の収入済額は6,335,809円で、全額、消費税還付金である。

市債の収入済額は68,100,000円で、前年度と比較して79,200,000円(53.8%)の減で国庫補助金と同様に工事費の減に伴うものである。

## ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
簡易水道費	143,650,950	119,756,642	22,279,900	1,614,408	83.4
公債費	2,897,000	2,796,607	0	100,393	96.5
予備費	100,000	0	0	100,000	0.0
歳出合計	146,647,950	122,553,249	22,279,900	1,814,801	83.6

簡易水道事業費の支出済額は119,756,642円で、前年度と比較し114,000,019円(48.8%)の減となっており、この主な要因は、配水管布設工事費の大幅な減によるものである。なお、予算額のうち22,279,900円は繰越明許費として翌年度へ繰り越されている。

公債費の決算額は2,796,607円で、利子相当額である。

予算流用は2件で、7,458円であった。

## 下水道事業特別会計

下水道事業特別会計は、事業認可区域を対象に下水道事業を行うための特別会計である。

## 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	1,957,659,000	1,916,995,223	1,904,558,624	12,436,599	97.9	97.3
17年度	1,943,461,132	1,807,404,522	1,786,241,453	21,163,069	93.0	91.9
比較増減	14,197,868	109,590,701	118,317,171	-8,726,470	4.9	5.4
増減率	0.7	6.1	6.6	-41.2	—	—

当年度の決算額は、歳入1,916,995,223円、歳出1,904,558,624円、歳入歳出差引額は12,436,599円となっている。前年度と比較して歳入109,590,701円(6.1%)、歳出118,317,171円(6.6%)それぞれ増となっている。

## 2 予算の執行状況

## ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	59,725,000	74,584,860	60,900,020	685,630	12,999,210	82.4
使用料及び手数料	329,879,000	343,635,362	333,367,183	762,195	9,505,984	97.2
国庫支出金	287,500,000	287,500,000	281,100,000	0	6,400,000	97.8
繰入金	543,683,000	536,000,000	536,000,000	0	0	100.0
繰越金	21,163,000	21,163,069	21,163,069	0	0	100.0
諸収入	4,109,000	4,464,951	4,464,951	0	0	100.0
市債	711,600,000	680,000,000	680,000,000	0	0	100.0
歳入合計	1,957,659,000	1,947,348,242	1,916,995,223	1,447,825	28,905,194	98.5

分担金及び負担金の収入済額は60,900,020円で、前年度と比較して2,996,370円（5.2%）の増となっている。また、不納欠損額は前年度と比較して2,352,340円の減となっている。

使用料及び手数料の収入済額は333,367,183円で、前年度と比較して4,979,647円（1.5%）の増である。なお、下水道使用料の賦課漏れ分の納付状況は、平成19年3月現在で賦課漏れ160件、5,312,001円に対し、完納128件、一部納付21件、分割納付9件で、納入済額の合計が4,451,721円で納入率は83.8%となっている。

国庫支出金の収入済額は281,100,000円で、前年度と比較し38,600,000円（15.9%）の増となっており、これは前年度から事業費の一部が繰り越されたことに伴うものである。

繰入金収入済額は536,000,000円で、前年度と比較し108,424,000円（16.8%）の減となっている。主な要因は、従来、市債の元利償還分を一般会計の繰入金で賄っていたが、制度改正により、資本費平準化債などを発行して元利償還の一部に充当しているためである。

市債の収入済額は680,000,000円で、前年度と比較し169,400,000円（33.2%）の増で、この主な要因は、下水道事業債に、前年度の繰越分101,600,000円を含んでいること、市債の元利償還の一部に充てるため資本費平準化債を発行したことによるものである。

#### ※資本費平準化債について

下水道事業債の元利償還期間（政府資金30年、公庫資金28年。各最長5年据置可）と下水道処理施設の減価償却期間（概ね44年）が異なっていることから、元金償還金と減価償却費との差について、構造的に資金不足が生じ、一般会計からの繰出により賄われている状況にある。この資金不足を補うためのものである。

後年度発生する資本費平準化債の元利償還金について、その50%が交付税算入措置される。

#### ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	1,178,836,000	1,126,121,237	46,000,000	6,714,763	95.5
公 債 費	778,823,000	778,437,387	0	385,613	99.9
歳 出 合 計	1,957,659,000	1,904,558,624	46,000,000	7,100,376	97.3

総務費の支出済額は1,126,121,237円で、前年度と比較し132,237,075円（13.3%）の増となっており、この主な内容は、一般管理費のほか、終末処理場管理費、幹線工事等の下水道事業費である。予算額には、前年度からの繰越額155,900,000円が含まれるほか、請負差額が生じたことにより次年度の工事箇所を前倒しして行ったが、年度内完成が見込めないことにより翌年度への繰越額46,000,000円が発生した。

予算流用は12件で、17,768,786円であった。

下水道事業における建設改良費と市債の借入額及び公債費の推移は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
建設改良費	1,039,800	766,200	432,300	696,800	793,900
市債借入額	716,600	742,600	621,800	510,600	680,000
公債費(元金)	465,676	741,932	801,212	505,909	499,829
市債残高	9,242,144	9,242,812	9,063,400	9,068,092	9,248,263

※借入額及び公債費(元金)には、それぞれ借換債及びそれに伴う償還金が含まれる。

## 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計は、事業認可区域を対象に農業集落排水事業を行うための特別会計である。

### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	17,970,000	17,758,136	17,632,185	125,951	98.8	98.1
17年度	18,002,000	18,000,046	17,453,323	546,723	100.0	97.0
比較増減	-32,000	-241,910	178,862	-420,772	-1.2	1.1
増減率	-0.2	-1.3	1.0	-77.0	—	—

当年度の決算額は、歳入17,758,136円、歳出17,632,185円、歳入歳出差引額は125,951円となっている。前年度と比較して歳入241,910円（1.3%）の減、歳出178,862円（1.0%）の増となっている。

### 2 予算の執行状況

#### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	80,000	80,000	80,000	0	0	100.0
使用料及び手数料	3,741,000	3,530,413	3,530,413	0	0	100.0
繰入金	13,601,000	13,601,000	13,601,000	0	0	100.0
繰越金	546,000	546,723	546,723	0	0	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	—
歳入合計	17,970,000	17,758,136	17,758,136	0	0	100.0

分担金及び負担金の収入済額は80,000円で、前年度と比較して540,000円（87.1%）の減となっている。これは、農業集落排水受益者分担金である。

使用料及び手数料の収入済額は3,530,413円で、前年度と比較して20,972円（0.6%）の減である。

繰入金の収入済額は13,601,000円で、前年度と比較して222,000円（1.6%）の減となっている。これは、一般会計繰入金である。

繰越金の収入済額は、546,723円で、前年度繰越金である。

#### ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
農業集落排水費	6,397,000	6,060,095	0	336,905	94.7
公債費	11,573,000	11,572,090	0	910	100.0
歳出合計	17,970,000	17,632,185	0	337,815	98.1

農業集落排水費の支出済額は6,060,095円で、前年度と比較し178,862円（3.0%）の増となっている。この主な内容は、処理場維持管理業務委託料等の管理費である。

公債費の支出済額は11,572,090円で、前年度と同額となっている。

予算流用は1件で、128,506円であった。

## 浄化槽整備事業特別会計

浄化槽整備事業特別会計は、二ツ井地域内を対象に浄化槽整備事業を行うための特別会計である。

### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	158,457,000	158,119,057	157,979,361	139,696	99.8	99.7
17年度	174,171,955	174,379,337	173,464,862	914,475	100.1	99.6
比較増減	-15,714,955	-16,260,280	-15,485,501	-774,779	-0.3	0.1
増減率	-9.0	-9.3	-8.9	-84.7	—	—

当年度の決算額は、歳入158,119,057円、歳出157,979,361円、歳入歳出差引額は139,696円となっている。前年度と比較して歳入16,260,280円(9.3%)、歳出15,485,501円(8.9%)それぞれ減となっている。

### 2 予算の執行状況

#### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	7,289,000	7,289,415	7,289,415	0	0	100.0
使用料及び手数料	38,936,000	40,978,692	39,543,527	149,440	1,285,725	96.9
国庫支出金	16,159,000	16,159,000	16,159,000	0	0	100.0
繰入金	69,698,000	68,752,000	68,752,000	0	0	100.0
繰越金	914,000	914,475	914,475	0	0	100.0
諸収入	461,000	460,640	460,640	0	0	100.0
市債	25,000,000	25,000,000	25,000,000	0	0	100.0
歳入合計	158,457,000	159,554,222	158,119,057	149,440	1,285,725	99.2

分担金及び負担金の収入済額は7,289,415円で、前年度と比較して173,985円(2.4%)の増となっている。

使用料及び手数料の収入済額は39,543,527円で、前年度と比較して2,609,557円(7.1%)の増である。不納欠損額149,440円は、負担能力があると判断し不納欠損処分を留保してきた未納者について、既に時効により債権が消滅している部分を一括して処理したものである。

国庫支出金の収入済額は16,159,000円で、前年度と比較して4,240,000円(20.8%)の減である。これは循環型社会形成推進交付金である。

繰入金の収入済額は68,752,000円で、前年度と比較して6,590,000円(8.7%)の減である。これは、一般会計繰入金である。

繰越金の収入済額は914,475円で、前年度繰越金である。

諸収入の収入済額は460,640円で、消費税還付金である。

市債の収入済額は25,000,000円で、前年度と比較して7,800,000円(23.8%)の減である。

## ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
事業費	105,244,000	104,966,918	0	277,082	99.7
公債費	53,113,000	53,012,443	0	100,557	99.8
予備費	100,000	0	0	100,000	0.0
歳出合計	158,457,000	157,979,361	0	477,639	99.7

事業費の支出済額は104,966,918円で、前年度と比較して14,112,934円(11.9%)の減である。この主な内容は、合併浄化槽清掃維持管理業務委託料及び合併処理浄化槽設置工事費である。公債費の支出済額は53,012,443円で、償還元金49,590,533円、償還利子3,421,910円である。予算流用は1件で、3,166円であった。

## 市場事業特別会計

市場事業特別会計は、公設小売市場を管理運営するため特別会計である。

なお、この特別会計は、公設小売市場を民間へ移管したことにより、平成19年3月31日をもって廃止された。

## 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	18,201,000	18,200,459	18,200,459	0	100.0	100.0
17年度	20,134,000	20,133,854	9,882,573	10,251,281	100.0	49.1
比較増減	-1,933,000	-1,933,395	8,317,886	-10,251,281	0.0	50.9
増減率	-9.6	-9.6	84.2	皆減	—	—

当年度の決算額は、歳入歳出とも18,200,459円で、前年度と比較して歳入1,933,395円(9.6%)の減、歳出8,317,886円(84.2%)の増となっている。

## 2 予算の執行状況

## ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	7,949,000	7,949,178	7,949,178	0	0	100.0
繰越金	10,251,000	10,251,281	10,251,281	0	0	100.0
諸収入	1,000	0	0	0	0	—
歳入合計	18,201,000	18,200,459	18,200,459	0	0	100.0

使用料及び手数料の収入済額は7,949,178円で、前年度と比較して2,271,186円(22.2%)の減である。繰越金の収入済額は10,251,281円で、前年度繰越金である。

## ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	18,200,459	18,200,459	0	0	100.0
予 備 費	541	0	0	541	0.0
歳 出 合 計	18,201,000	18,200,459	0	541	100.0

総務費の支出済額は18,200,459円で、前年度に比較して14,867,003円（446.0%）の増である。これは、施設の工事請負費等の一般管理費である。

予備費充用は2件で、1,407,459円、予算流用は1件で、2,064,094円であった。

なお、本特別会計の廃止に伴い、残余金2,476,653円を一般会計へ繰り出し、事業の精算が完了している。

## 土地区画整理事業換地清算特別会計

土地区画整理事業換地清算特別会計は、土地区画整理事業の換地清算するための特別会計である。

## 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	967,000	965,416	965,416	0	99.8	99.8
17年度	7,123,000	7,120,805	7,120,805	0	100.0	100.0
比較増減	-6,156,000	-6,155,389	-6,155,389	0	-0.2	-0.2
増減率	-86.4	-86.4	-86.4	-	-	-

当年度の決算額は、歳入歳出ともに965,416円で、前年度と比較して歳入歳出ともに6,155,389円（86.4%）の減である。

## 2 予算の執行状況

## ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	1,000	80	80	0	0	100.0
諸 収 入	966,000	965,336	965,336	0	0	100.0
歳 入 合 計	967,000	965,416	965,416	0	0	100.0

使用料及び手数料の収入済額は80円で、これは督促手数料である。

諸収入の支出済額は965,336円で、前年度と比較して3,693,286円（79.3%）の減となっている。この主な内容は、長崎地区及び東能代駅前地区換地清算金収入である。

## ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
都 市 計 画 費	967,000	965,416	0	1,584	99.8

都市計画費の支出済額は965,416円で、前年度と比較して6,155,389円(86.4%)の減となっている。この内容は、長崎地区換地清算交付金及び東能代駅前地区換地清算繰出金である。

## 浅内財産区特別会計

浅内財産区特別会計は、浅内財産区の財産管理を行うための特別会計である。

## 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	2,417,000	3,030,440	2,217,091	813,349	125.4	91.7
17年度	11,348,000	11,346,745	11,229,221	117,524	100.0	99.0
比較増減	-8,931,000	-8,316,305	-9,012,130	695,825	25.4	-7.3
増減率	-78.7	-73.3	-80.3	592.1	—	—

当年度の決算額は、歳入3,030,440円、歳出2,217,091円、歳入歳出差引額は813,349円となっている。前年度と比較して歳入8,316,305円(73.3%)、歳出9,012,130円(80.3%)それぞれ減となっている。

## 2 予算の執行状況

## ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
県 支 出 金	267,000	267,312	267,312	0	0	100.0
財 産 収 入	1,594,000	1,560,234	1,560,234	0	0	100.0
繰 越 金	117,000	117,524	117,524	0	0	100.0
諸 収 入	439,000	1,085,370	1,085,370	0	0	100.0
歳 入 合 計	2,417,000	3,030,440	3,030,440	0	0	100.0

県支出金の収入済額は267,312円で、流域循環林整備事業費補助金である。

財産収入の収入済額は1,560,234円で、前年度と比較して85,036円(5.8%)の増となっており、この主な内容は土地貸付収入である。

諸収入の収入済額は1,085,370円で、前年度と比較して923,069円(568.7%)の増であり、これは森林整備地域活動支援交付金及び火力送電線巡視路使用補償金などの雑入である。

## ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	332,000	309,417	0	22,583	93.2
総 務 費	1,396,000	1,218,674	0	177,326	87.3
積 立 金	689,000	689,000	0	0	100.0
歳 出 合 計	2,417,000	2,217,091	0	199,909	91.7

管理会費の支出済額は309,417円で、この主な内容は財産区管理委員報酬である。

総務費の支出済額は1,218,674円で、前年度と比較して558,784円（31.4%）の減となっている。この主な要因は、一般管理費の旅費、使用料及び賃借料が当年度なくなったことによるものである。

予算流用は1件で、63,897円であった。

## 常盤財産区特別会計

常盤財産区特別会計は、常盤財産区の財産管理を行うための特別会計である。

### 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	2,631,000	4,573,779	2,455,152	2,118,627	173.8	93.3
17年度	3,402,000	3,443,945	3,177,823	266,122	101.2	93.4
比較増減	-771,000	1,129,834	-722,671	1,852,505	72.6	-0.1
増減率	-22.7	32.8	-22.7	696.1	—	—

当年度の決算額は、歳入4,573,779円、歳出2,455,152円、歳入歳出差引額は2,118,627円となっている。前年度と比較して歳入1,129,834円（32.8%）の増、歳出722,671円（22.7%）の減となっている。

### 2 予算の執行状況

#### ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
県支出金	252,000	252,164	252,164	0	0	100.0
財産収入	44,000	1,986,593	1,986,593	0	0	100.0
繰入金	1,073,000	1,073,000	1,073,000	0	0	100.0
繰越金	266,000	266,122	266,122	0	0	100.0
諸収入	996,000	995,900	995,900	0	0	100.0
歳入合計	2,631,000	4,573,779	4,573,779	0	0	100.0

県支出金の収入済額は252,164円で、これは流域公益保全林整備事業費補助金である。

財産収入の収入済額は1,986,593円で、前年度と比較して1,908,027円（2,428.6%）の増となっており、この主な内容は県営林分収金である。

繰入金の収入済額は1,073,000円で、前年度と比較して665,000円（38.3%）の減であり、これは基金繰入金である。

繰越金の収入済額は266,122円で、前年度繰越金である。

諸収入の収入済額は995,900円で、森林整備地域活動支援交付金である。

## ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	354,000	316,443	0	37,557	89.4
総 務 費	2,235,000	2,097,082	0	137,918	93.8
諸 支 出 金	42,000	41,627	0	373	99.1
歳 出 合 計	2,631,000	2,455,152	0	175,848	93.3

管理会費の支出済額は316,443円で、この主な内容は財産区管理委員報酬である。

総務費の支出済額は2,097,082円で、前年度と比較して844,232円(28.7%)の減となっている。この主な内容は、管理委員現地調査の報酬である。

諸支出金の支出済額は41,627円で、大柄自治会交付金である。

## 鶴形財産区特別会計

鶴形財産区特別会計は、鶴形財産区の財産管理を行うための特別会計である。

## 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	1,177,000	1,184,107	951,762	232,345	100.6	80.9
17年度	1,552,000	1,688,650	1,381,228	307,422	108.8	89.0
比較増減	-375,000	-504,543	-429,466	-75,077	-8.2	-8.1
増減率	-24.2	-29.9	-31.1	-24.4	—	—

当年度の決算額は、歳入1,184,107円、歳出951,762円、歳入歳出差引額は232,345円となっている。前年度と比較して歳入504,543円(29.9%)、歳出429,466円(31.1%)、それぞれ減となっている。

## 2 予算の執行状況

## ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財 産 収 入	122,000	129,185	129,185	0	0	100.0
繰 入 金	536,000	536,000	536,000	0	0	100.0
繰 越 金	307,000	307,422	307,422	0	0	100.0
諸 収 入	212,000	211,500	211,500	0	0	100.0
歳 入 合 計	1,177,000	1,184,107	1,184,107	0	0	100.0

財産収入の収入済額は129,185円で、前年度と比較して83,838円(39.4%)の減となっておりこの主な内容は土地貸付収入である。

繰入金の収入済額は536,000円で、前年度と比較して610,000円(53.2%)の減であり、これは基金繰入金である。

繰越金の収入済額は307,422円で、前年度繰越金である。

諸収入の収入済額は211,500円で、森林整備地域活動支援交付金である。

## ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	290,000	220,800	0	69,200	76.1
総 務 費	887,000	730,962	0	156,038	82.4
歳 出 合 計	1,177,000	951,762	0	225,238	80.9

管理会費の支出済額は220,800円で、これは財産区管理委員報酬である。

総務費の支出済額は730,962円で、前年度と比較して560,566円(43.4%)の減となっており、これは財産管理費の賃金である。

## 檜山財産区特別会計

檜山財産区特別会計は、檜山財産区の財産管理を行うための特別会計である。

## 1 決算規模

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
18年度	4,346,000	4,354,756	1,809,557	2,545,199	100.2	41.6
17年度	9,734,000	9,746,938	9,702,894	44,044	100.1	99.7
比較増減	-5,388,000	-5,392,182	-7,893,337	2,501,155	0.1	-58.1
増減率	-55.4	-55.3	-81.4	5,678.8	—	—

当年度の決算額は、歳入4,354,756円、歳出1,809,557円、歳入歳出差引額は2,545,199円となっている。前年度と比較して歳入5,392,182円(55.3%)、歳出7,893,337円(81.4%)、それぞれ減となっている。

## 2 予算の執行状況

## ①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財 産 収 入	64,000	73,612	73,612	0	0	100.0
繰 入 金	3,292,000	3,292,000	3,292,000	0	0	100.0
繰 越 金	44,000	44,044	44,044	0	0	100.0
諸 収 入	946,000	945,100	945,100	0	0	100.0
歳 入 合 計	4,346,000	4,354,756	4,354,756	0	0	100.0

財産収入の収入済額は73,612円で、前年度と比較して282,909円(79.4%)の減となっており、この主な内容は土地貸付収入である。

繰入金の収入済額は3,292,000円で、前年度と比較して3,998,000円(54.8%)の減であり、これは基金繰入金である。

繰越金の収入済額は44,044円で、前年度繰越金である。

諸収入の収入済額は945,100円で、森林整備地域活動支援交付金である。

## ②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管 理 会 費	354,000	314,720	0	39,280	88.9
総 務 費	3,992,000	1,494,837	2,309,000	188,163	37.4
歳 出 合 計	4,346,000	1,809,557	2,309,000	227,443	41.6

管理会費の支出済額は314,720円で、この主な内容は財産区管理委員報酬である。

総務費の支出済額は1,494,837円で、前年度と比較して1,332,208円(47.1%)の減となっている。この主な内容は、財産管理費の賃金である。なお、大台線作業道擁壁設置工事費の一部工事費2,309,000円は、繰越明許費として翌年度へ繰越されている。